



鶴岡信用金庫

第186回
中小企業の

景気動向

2020年10月~12月



2020年10月~12月期の景気の現状と2021年1月~3月期の見通し

特別調査「2021年(令和3年)の経営見通し」

目次

- P01 概況
- P03 製造業
- P05 建設業
- P07 卸売業
- P09 小売業
- P11 サービス業
- P13 不動産業
- P15 参考資料
- P17 特別調査

凡例

1. 調査の目的 経済情勢の変化が激しい経営環境下における企業活動の実態をとらえ、今後の企業経営の資料として活用する。
2. 調査時点 2020年12月1日~7日
3. 調査内容 (イ) 業況判断 (今期の業況・来期の予想) (ロ) 売上・収益・価格の動き (ハ) 経営上の問題点 (ニ) 当面の重点経営施策
4. 調査先・業種と企業数 (庄内地区の中小企業のうち、当金庫取引先を主とした企業168社から、当金庫営業店の職員が共通の調査表に基づき聞き取りによる調査を実施したものです)
・製造業33社・小売業48社・建設業31社・サービス業26社・卸売業20社・不動産業10社
5. 分析方法 各質問項目について「良い(増加)・悪い(減少)」の構成比の差=判断指数・DI値を中心にして分析を行った。

業況判断
天気図

【悪い】←



~▲30



~▲20



~▲10



~0~



+10~



+20~



+30~

→【良い】

◆ ◆ ◆ 2020年10月～12月期の景気の現状と2021年1月～3月期の見通し ◆ ◆ ◆

回答企業168企業（回答率100%）の調査結果

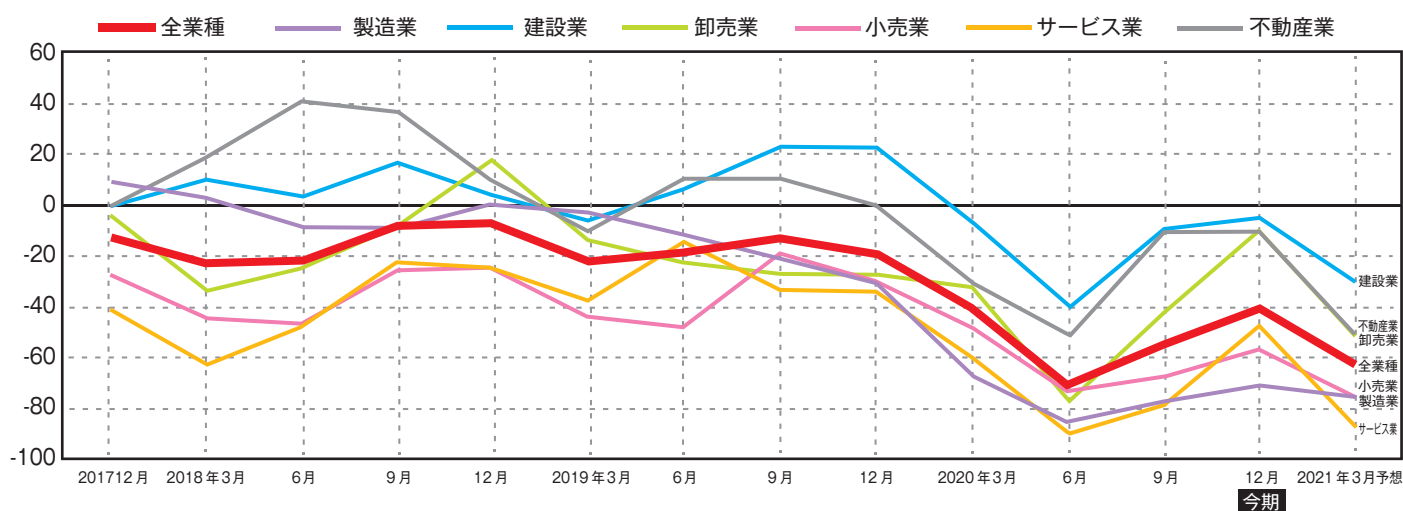
概況判断

景況感の悪化幅が縮小した

庄内地域全業種の2020年10月～12月期の業況は、「**良い**」と回答した企業の割合が11.9ポイント、「**悪い**」と回答した企業の割合は51.2ポイントで、業況判断指数・DI値（「**良い**」-「**悪い**」）は▲39.3となり、前期（2020年7月～9月期 ▲53.8）に比べ14.5ポイント改善しました。

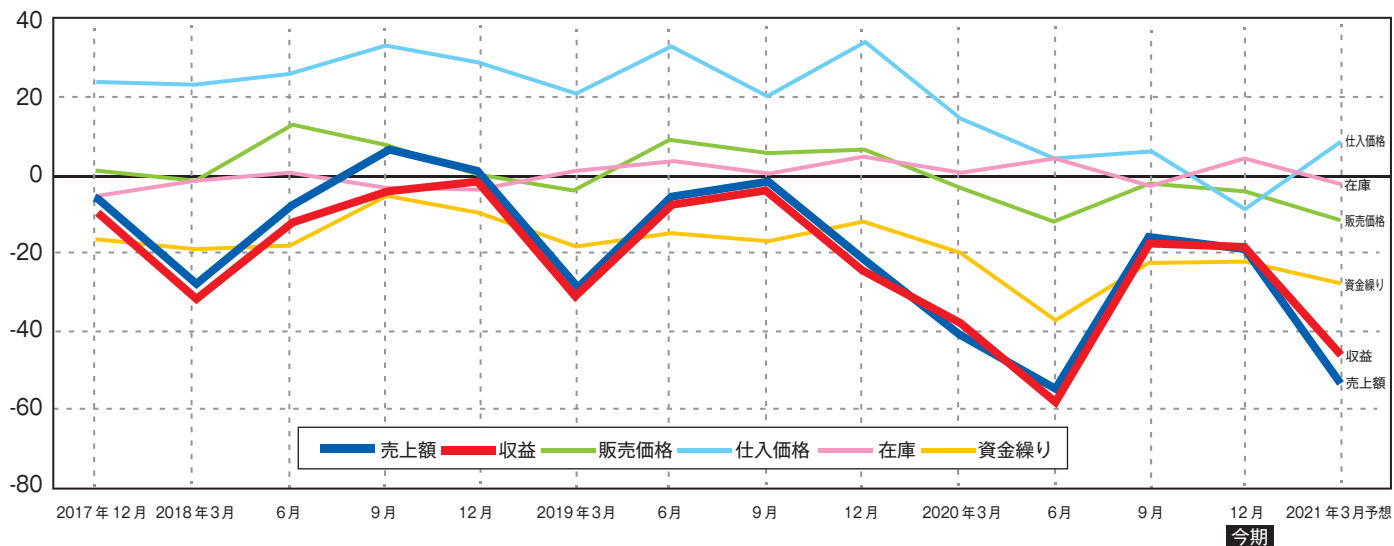
業種別の業況判断指数・DI値（前期比）は、製造業▲69.7、建設業▲6.4、卸売業▲10.0、小売業▲54.2、サービス業▲46.2、不動産業▲10.0となり、不動産業が前期と同率であったものの、他の業種においてはDI値マイナスながら、前期に比べ業況の悪化幅が改善しました。

業況判断 [DI] 全業種



売上・収益・価格等の状況

業種に多少のよればらつきはあるものの、全体的に「**売上額**」、「**収益**」、「**販売価格**」、「**資金繰り**」が前期に比べやや悪化しました。業種別の対前期比売上額では、製造業がDI前期比▲9.1、建設業同▲12.9、卸売業同▲20.0、小売業同+6.3、サービス業同+11.2、不動産業同▲20.0と、小売業とサービス業が前期に比べ改善しました。サービス業は国や地方公共団体のコロナ関連支援等による影響もあり、水面下を脱することが出来ました。業種別の対前期比収益は、製造業がDI前期比▲3.1、建設業同▲12.9、卸売業同+5.0、小売業同+6.2、サービス業同+10.8、不動産業同▲50.0となり、卸売業は収益の増加幅が拡大し、小売業・サービス業はマイナスながら前期に比べ悪化幅が改善しました。一方で、建設業・不動産業は前期に比べ収益は悪化し、上昇から水面下に落ち込みました。

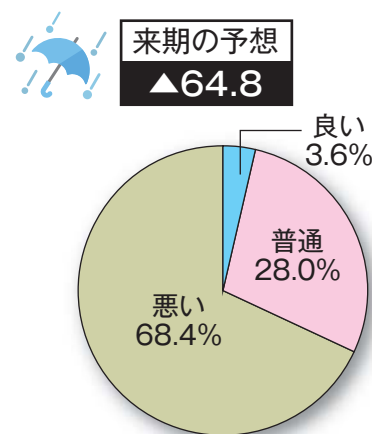
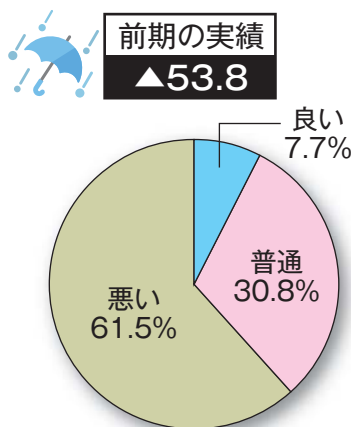
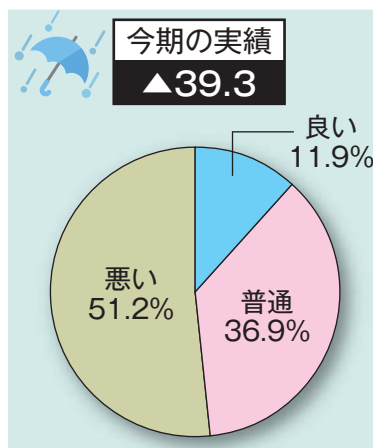


庄内地域全業種の2021年1月～3月期の業況見通しは、「良い」と回答した企業の割合が3.6ポイント、「悪い」と回答した企業の割合は68.4ポイントで、業況判断指数・DI値（「良い」-「悪い」企業割合）は▲64.8となり、今期（2020年10～12月期▲39.3）に比べ25.5ポイント悪化し、来期の景況感は更に大きく落ち込むと見通しています。

今期に比した業種別の対前期比予想業況判断指数は、製造業がDI前期比▲6.1、建設業同▲25.8、卸売業同▲40.0、小売業同▲20.8、サービス業同▲42.3、不動産業同▲40.0となり、全ての業種で業況の悪化幅が拡大すると見通しています。

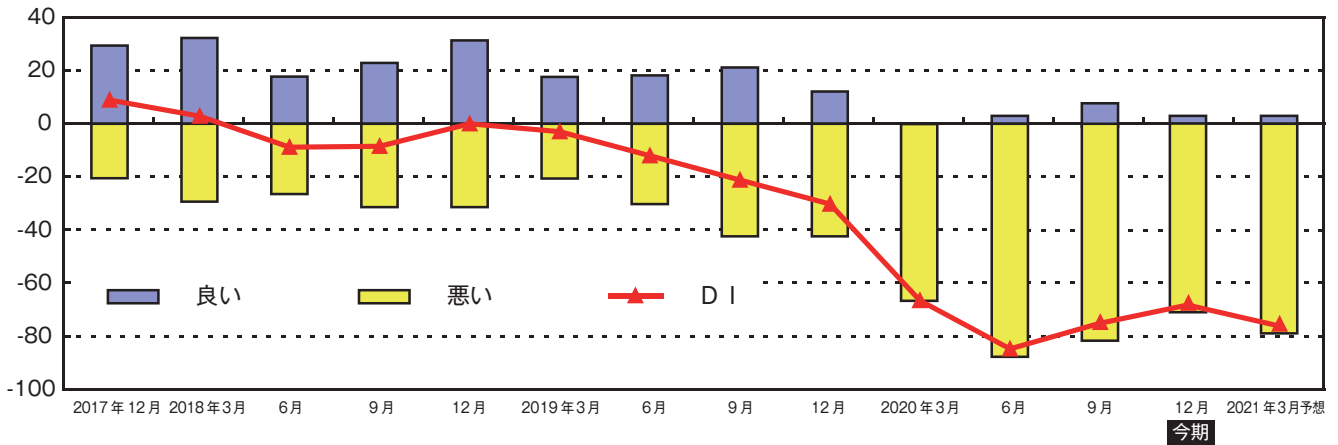
業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断 総合)



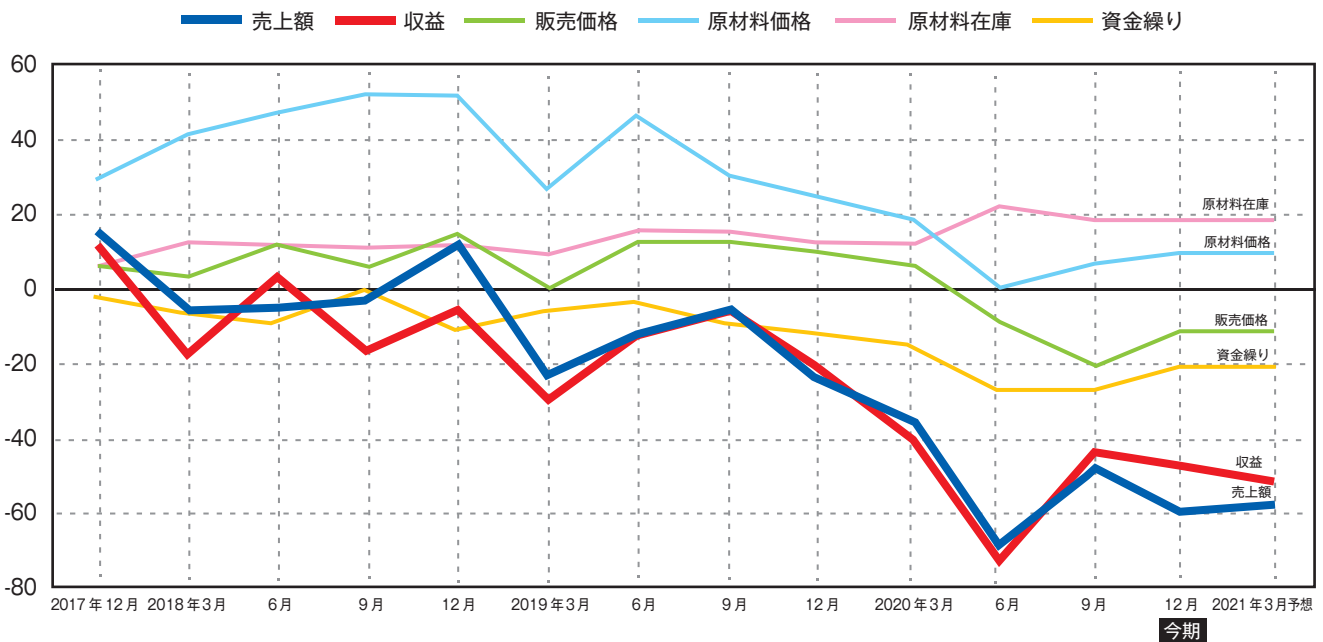
		今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合		▲39.3	▲53.8	14.5	▲64.8	▲25.5	▲18.7	▲20.6
内訳	良い	11.9	7.7	4.2	3.6	▲8.3	16.4	▲4.5
	普通	36.9	30.8	6.1	28.0	▲8.9	48.5	▲11.6
	悪い	51.2	61.5	▲10.3	68.4	17.2	35.1	16.1
売上額		▲19.0	▲14.8	▲4.2	▲53.0	▲34.0	▲21.6	2.6
収益		▲18.5	▲16.6	▲1.9	▲48.2	▲29.7	▲23.4	4.9
販売(請負)価格 料金		▲3.0	▲2.4	▲0.6	▲11.9	▲8.9	7.0	▲10.0
仕入・原材料価格		9.5	5.4	4.1	6.6	▲2.9	33.9	▲24.4
在庫		4.9	▲2.9	7.8	▲2.1	▲7.0	5.6	▲0.7
内訳	過剰	14.8	8.4	6.4	11.3	▲3.5	13.9	0.9
	適正	75.4	80.3	▲4.9	75.4	0.0	77.8	▲2.4
	不足	9.9	11.3	▲1.4	13.4	3.5	8.3	1.6
資金繰り		▲23.2	▲23.1	▲0.1	▲29.7	▲6.5	▲11.7	▲11.5
残業時間		▲13.0	▲27.3	14.3	▲16.6	▲3.6	▲13.4	0.4
人手		▲20.3	▲0.7	▲19.6	▲16.7	3.6	▲25.1	4.8
設備投資		▲20.9	▲17.6	▲3.3	▲19.0	1.9	▲19.8	▲1.1
内訳	過剰	3.2	5.0	▲1.8	3.2	0.0	1.9	1.3
	適正	72.8	72.3	0.5	74.7	1.9	76.4	▲3.6
	不足	24.1	22.6	1.5	22.2	▲1.9	21.7	2.4

概況判断 業況の悪化幅がやや改善した。



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業の割合が3.0ポイント、「悪い」と回答した企業は72.7ポイントで、業況DI(「良い」－「悪い」)は▲69.7となり、前期(▲75.7)に比べ6.0ポイントマイナス幅が改善しました。来期(2021年1～3月)の予想DIは▲75.8で、今期に比べマイナス幅が6.1ポイント拡大し、業況の悪化幅は拡大すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



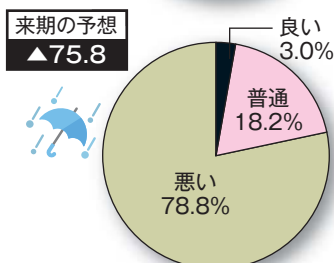
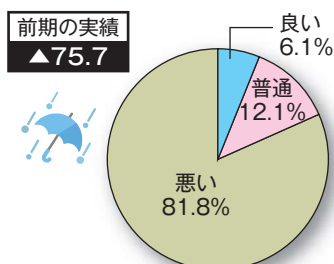
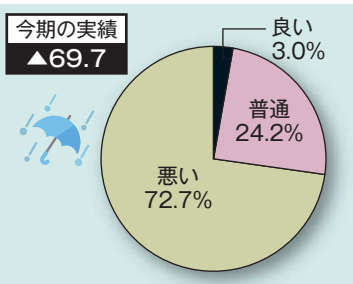
前期(2020年7～9月)に比べ、「売上額」、「収益」とともにマイナス幅が拡大しました。前期に比べ「販売価格」の下降幅が改善するも「原材料価格」の上昇幅は拡大しました。「原材料在庫」は引き続き過剰な状況が続いています。また、「資金繰り」の窮屈感はやや改善しました。

来期の見通し

来期(2021年1月～3月)は、「売上額」のマイナス幅はやや改善するも、「収益」は当期に比べ悪化すると見通しています。「販売価格」と「原材料価格」の状況については今期に比べ改善しないと見通しています。「原材料在庫」の過剰感は来期も続き、改善しないと見通しています。厳しい状況が続く資金繰りについては、僅か0.1ポイントマイナス幅が拡大すると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



	今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合	▲69.7	▲75.7	6.0	▲75.8	▲6.1	▲30.3	▲39.4
内訳	良い	3.0	6.1	▲3.1	3.0	12.1	▲9.1
	普通	24.2	12.1	12.1	18.2	45.5	▲21.3
	悪い	72.7	81.8	▲9.1	78.8	42.4	30.3
売上額	▲60.6	▲51.5	▲9.1	▲57.5	3.1	▲24.2	▲36.4
受注残	▲33.4	▲48.5	15.1	▲36.3	▲2.9	▲27.2	▲6.2
収益	▲48.5	▲45.4	▲3.1	▲51.5	▲3.0	▲21.2	▲27.3
販売(請負)価格	▲12.1	▲21.3	9.2	▲12.1	0.0	9.1	▲21.2
仕入価格・原材料価格	9.1	6.1	3.0	9.1	0.0	24.2	▲15.1
在庫	18.2	18.2	0.0	18.2	0.0	12.1	6.1
内訳	過剰	18.2	21.2	▲3.0	18.2	12.1	6.1
	適正	81.8	75.8	6.0	81.8	87.9	▲6.1
	不足	0.0	3.0	▲3.0	0.0	0.0	0.0
資金繰り	▲21.2	▲27.3	6.1	▲21.3	▲0.1	▲12.1	▲9.1
残業時間	▲39.4	▲42.5	3.1	▲33.3	6.1	▲36.4	▲3.0
人手	9.1	21.2	▲12.1	6.1	▲3.0	▲24.2	33.3
設備投資	▲21.2	▲21.3	0.1	▲18.1	3.1	▲24.3	3.1
内訳	過剰	9.1	12.1	▲3.0	9.1	3.0	6.1
	適正	60.6	54.5	6.1	63.6	69.7	▲9.1
	不足	30.3	33.4	▲3.1	27.2	27.3	3.0

経営上の問題点・重点施策

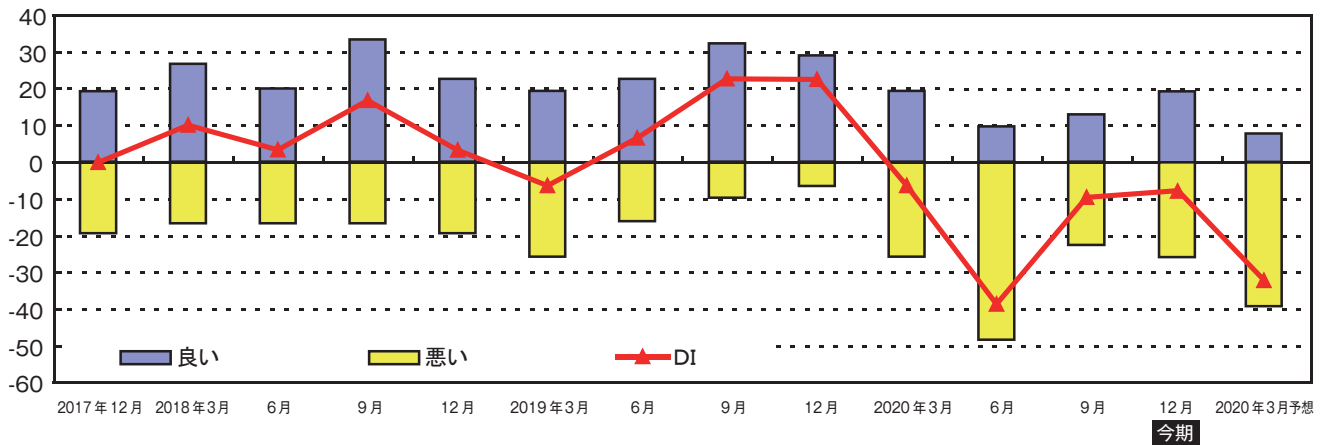
	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	78.8	78.8
2	同業者間の競争激化	21.2	27.3
3	利幅の縮小	30.3	24.2
4	人手不足	15.2	18.2
5	工場・機械の狭小・老朽化	24.2	15.2

	項目	前期	今期
1	販路を広げる	66.7	60.6
2	経費を節減する	42.4	48.5
3	新製品・技術を開発する	21.2	24.2
4	情報力を確保する	6.1	18.2
5	人材を確保する	18.2	15.2

調査員のコメント

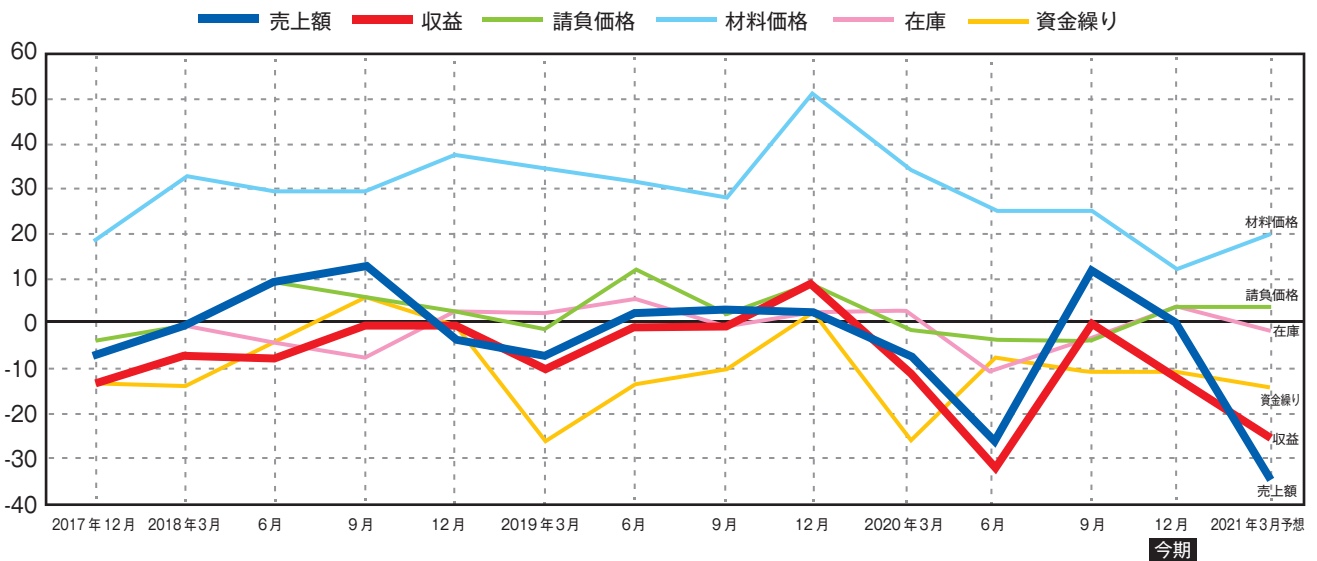
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、取引先からの受注が減少している。マスクをはじめ様々なオリジナル商品を開発することで資金繰りを保っている状況です。社長自身が積極的に営業を行っており、夏以降の業況は回復傾向にあるも、売上高の回復には時間がかかると見通しています。(繊維工業：衣服・その他の繊維製品を除く)
- 昨年からの従業員の退職が相次ぎ定着率が低いことが課題となっていたが、職場環境の改善や待遇改善により現状では比較的安定した雇用状況となった。新型コロナウイルス感染拡大の影響は多少あるも、新商品の開発などで積極的な営業を続けている。但し、現在使用している工場設備が老朽化しており、今後の設備更新の対応が課題となっている。(食料品製造業)
- 上半期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりメーカーからの受注が大きく減少した。現在は80～90%程度まで持ち直しているが、前半のマイナスを取り戻せる状況には至っていない。メーカーの業績が新型コロナウイルスの動向に大きく左右されることから、来年度の業況についても不透明な状況が続くと予想している。(一般機械器具製造業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は少ないものの、人手不足による生産性の低下が目立っている。これまで従業員の待遇改善や工業高校生へのアプローチを積極的に行ってきたが満足できる状況に至っていない。(建設用・建築用金属製品製造業)

概況判断 業況判断指数マイナスながらやや改善した。



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業の割合が19.4ポイント、「悪い」と回答した企業の割合は25.8ポイントで、業況DI(「良い」－「悪い」)は▲6.4となり、前期(▲9.6)に比べ3.2ポイントマイナス幅が改善しました。来期(2021年1～3月)の予想DIは▲32.2で、今期に比べ25.8ポイントマイナス幅が拡大し、業況は厳しさを増すと見通しています。

売上・収益・価格等の状況



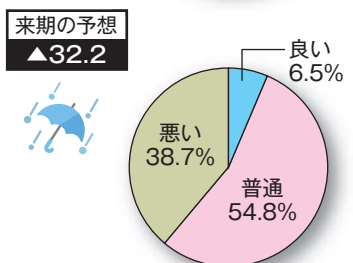
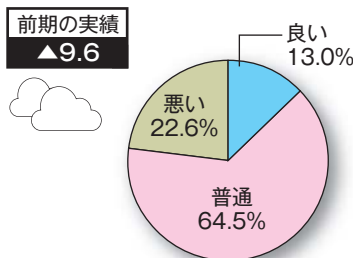
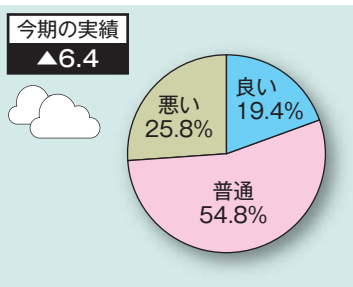
前期(2020年7～9月)に比べ、「売上額」、「収益」とともに悪化に転じ、特に収益は水面下に落ち込みました。「請負価格」は上昇に転じ、「材料価格」の上昇幅は弱まりました。在庫については品薄から過剰に転じ、資金繰りの窮屈感は改善しませんでした。

来期の見通し

来期(2021年1～3月)は、「売上額」予想DI、「収益」予想DIは共に大きく悪化すると見通しています。請負価格は現在の状況が続くものの、材料価格の上昇は強まると見通しています。「在庫」は過剰から品薄に転じ、「資金繰り」の窮屈感は拡大すると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合		▲6.4	▲9.6	3.2	▲32.2	▲25.8	22.5	▲28.9
内訳	良い	19.4	13.0	6.4	6.5	▲12.9	29.0	▲9.6
	普通	54.8	64.5	▲9.7	54.8	0.0	64.5	▲9.7
	悪い	25.8	22.6	3.2	38.7	12.9	6.5	19.3
売上額		0.0	12.9	▲12.9	▲35.5	▲35.5	3.3	▲3.3
受注残		▲13.0	6.5	▲19.5	▲38.8	▲25.8	3.2	▲16.2
施工高		▲3.2	22.7	▲25.9	▲28.9	▲25.7	12.8	▲16.0
収益		▲12.9	0.0	▲12.9	▲25.8	▲12.9	9.7	▲22.6
請負価格		3.3	▲3.3	6.6	3.3	0.0	9.7	▲6.4
材料価格		12.9	25.8	▲12.9	19.4	6.5	51.6	▲38.7
在庫		3.3	▲3.2	6.5	▲3.3	▲6.6	3.2	0.1
内訳	過剰	6.5	0.0	6.5	3.2	▲3.3	9.7	▲3.2
	適正	90.3	96.8	▲6.5	90.3	0.0	83.9	6.4
	不足	3.2	3.2	0.0	6.5	3.3	6.5	▲3.3
資金繰り		▲9.7	▲9.7	0.0	▲16.1	▲6.4	3.2	▲12.9
残業時間		▲6.4	▲9.6	3.2	0.0	6.4	0.0	▲6.4
人手		▲48.4	▲38.7	▲9.7	▲48.4	0.0	▲45.2	▲3.2
設備投資		▲6.4	▲9.7	3.3	▲12.9	▲6.5	▲12.9	6.5
内訳	過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適正	93.5	90.3	3.2	87.1	▲6.4	87.1	6.4
	不足	6.4	9.7	▲3.3	12.9	6.5	12.9	▲6.5

経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	41.9	41.9
1	人手不足	41.9	41.9
3	利幅の縮小	19.4	29.0
4	同業者間の競争激化	25.8	22.6
4	下請の確保難	16.1	22.6

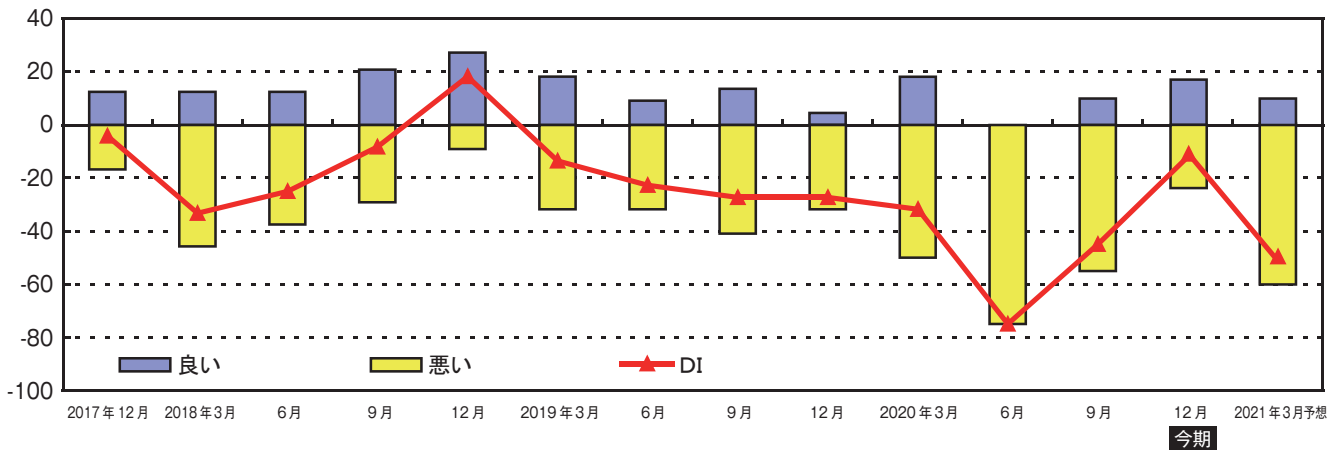
	項目	前期	今期
1	販路を広げる	41.9	48.4
2	経費を節減する	38.7	45.2
3	情報力を強化する	48.4	41.9
4	技術力を高める	22.6	38.7
4	人材を確保する	51.6	38.7

調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を殆ど受けておらず、対前年売上比はプラスになっている。但し、新年度の受注状況については、国の予算が新型コロナウイルス感染拡大関連に流れることで、公共工事等への支出が減少するのではないかと危惧している。（総合工事業）
- 長年、河川土木工事を主力としてきたことから、河川工事において高い技術力を有している。近年多発する水害発生により、一級河川の護岸工事が長期間にわたり継続することから業績はアップしている。但し、人手不足の状況は益々深刻な状況になっており、待遇や環境の改善を進めることで人手不足を打開していきたいと考えている。（総合工事業）
- 昨年に比べ、工事受注の状況は増加している。但し、慢性的な人手不足が続いており、様々な施策等で対応しているが、未だ効果が表れていない。下請への外注依頼も外注単価の上昇や下請け企業の人材不足により円滑な関係に至っていない状況にある。（識別工事業）
- 公共工事、民間発注工事共に受注状況好調であり、昨年度以上の工事高と収益を確保している。しかし、現状は「仕事はあるが人手が不足」の状況であり、人材の確保や安定した下請先の確保が課題となっている。昨年は、外国人労働者の受け入れも考え、社内の環境整備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大により実行できない状況にある。（総合工事業）

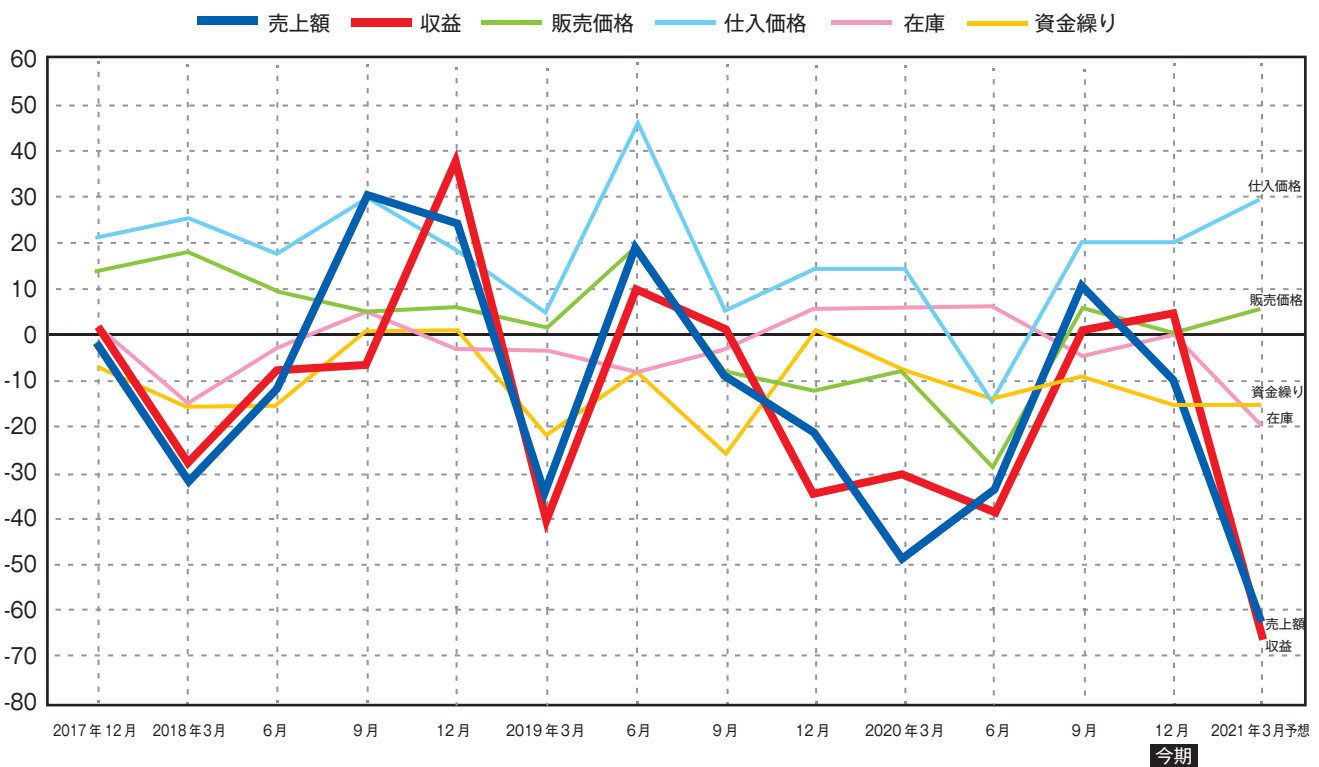
◆ ◆ ◆ 卸売業 20社

概況判断 業況はマイナスながら改善した。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業の割合が15.0ポイント、「**悪い**」と回答した企業の割合は25.0ポイントで、業況DI（「**良い**」－「**悪い**」）は▲10.0となり、前期（▲45.0）に比べ35.0ポイントマイナス幅が縮小しました。来期（2021年1～3月）の予想DIは▲50.0で、今期に比べマイナス幅が40.0ポイント拡大し、業況は大きく悪化すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



前期（2020年7月～9月）に比べ、「**売上額**」は減少するも「**収益**」は増加に転じました。「**販売価格**」の上昇が弱まり、「**仕入価格**」は改善しませんでした。「**在庫**」については、品薄感が改善し、「**資金繰り**」の窮屈感は強まりました。

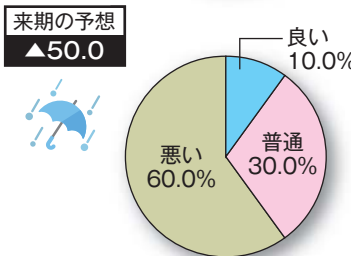
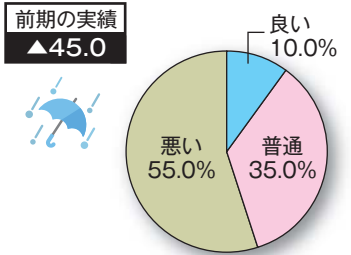
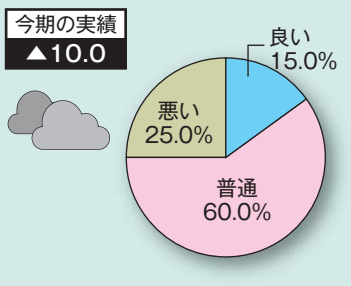
来期の見通し

来期（2021年1月～3月）は、「**売上額**」「**収益**」ともに大きく減少し、収益は水面下に落ち込みると見通しています。「**販売価格**」は上昇に転じるものの、「**仕入価格**」の上昇幅も強まると見通しています。また、来期は「**在庫**」の品薄感が強まり、「**資金繰り**」は窮屈感が改善されないと見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)

(%)



	今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較	
業況判断 総合	▲10.0	▲45.0	35.0	▲50.0	▲40.0	▲27.3	17.3	
内訳	良い	15.0	10.0	10.0	▲5.0	4.5	10.5	
	普通	60.0	35.0	25.0	▲30.0	63.6	▲3.6	
	悪い	25.0	55.0	▲30.0	60.0	31.8	▲6.8	
売上額	▲10.0	10.0	▲20.0	▲65.0	▲55.0	▲22.7	12.7	
収益	5.0	0.0	5.0	▲70.0	▲75.0	▲36.4	41.4	
販売価格	0.0	5.0	▲5.0	5.0	5.0	▲13.6	13.6	
仕入価格	20.0	20.0	0.0	30.0	10.0	13.7	6.3	
在庫	0.0	▲5.0	5.0	▲20.0	▲20.0	4.6	▲4.6	
内訳	過剰	15.0	10.0	5.0	0.0	▲15.0	18.2	▲3.2
	適正	70.0	75.0	▲5.0	80.0	10.0	68.2	1.8
	不足	15.0	15.0	0.0	20.0	5.0	13.6	1.4
資金繰り	▲15.0	▲10.0	▲5.0	▲15.0	0.0	▲0.1	▲14.9	
残業時間	▲5.0	▲5.0	0.0	▲20.0	▲15.0	▲13.7	8.7	
人手	▲15.0	▲25.0	10.0	▲15.0	0.0	▲22.7	7.7	
設備投資	▲25.0	▲15.0	▲10.0	▲20.0	5.0	▲18.1	▲6.9	
内訳	過剰	0.0	5.0	▲5.0	0.0	0.0	0.0	
	適正	75.0	75.0	0.0	80.0	5.0	81.8	▲6.8
	不足	25.0	20.0	5.0	20.0	▲5.0	18.1	6.9

経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	70.0	60.0
2	同業者間の競争激化	20.0	35.0
3	利幅の縮小	20.0	30.0
4	人手不足	15.0	15.0
4	小口注文・多頻度配送の増加	5.0	15.0

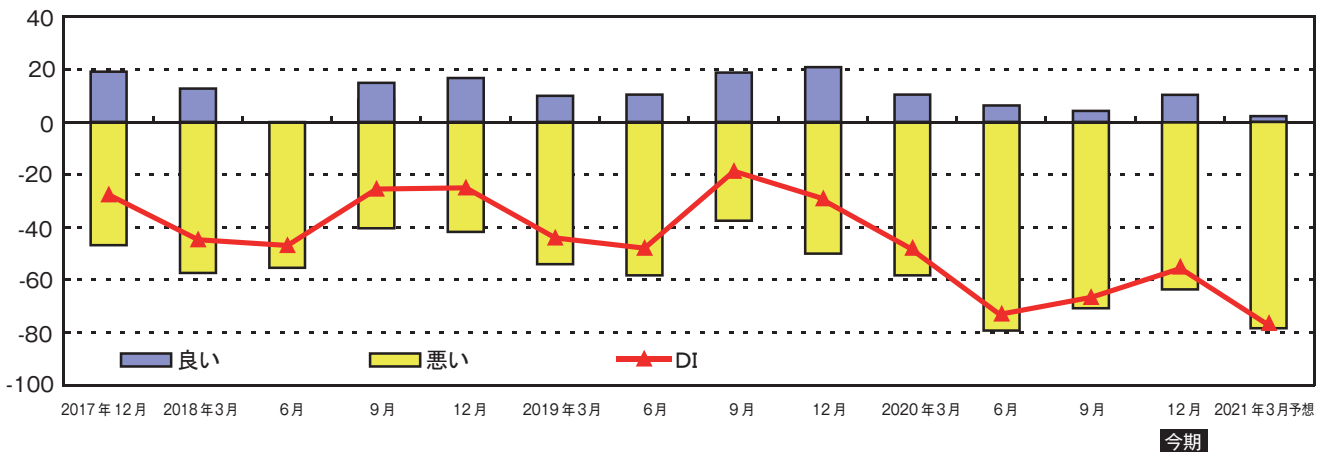
	項目	前期	今期
1	経費を節減する	50.0	45.0
2	販路を広げる	45.0	40.0
3	人材を確保する	30.0	35.0
4	情報力を強化する	20.0	30.0
5	品揃えを充実する	15.0	25.0

調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、飲食店からのテイクアウト関連容器の注文が大幅に増加したが、売上高については例年並みとなった。新型コロナウイルスの感染状況に売上げが左右される状況の中で、販路の拡大やニーズに合った在庫の確保等を進めている。(その他の卸売業)
- 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて公共工事予算の減少を危惧している。地元で同業者が多くある中で、公共工事費総額が減少することは、業況が悪化し、結果として入札価格の低下につながることから公共工事予算の動向を注視している。(その他の卸売業)
- 主要取引先である地元温泉旅館やホテル・飲食業の売上がGotoトラベルや県・市の様々な施策により回復したことから、自社の業況も改善しつつあった。しかし、地元での感染拡大が続いたなかで、今後の観光業・飲食業の業況が見通すことが出来ない状況にあることを懸念している。(農畜産物・水産物卸売業)
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、外食部門への売上は大きく減少したが、大手スーパー等への売上は比較的好調に推移した。現在は、外食部門の売上も徐々に回復しており、全体の売上高は例年並みに達した。しかしながら新型コロナウイルスの感染拡大第3波の影響が見通せない中で先行きの業況を危惧している。(農畜産物・水産物卸売業)

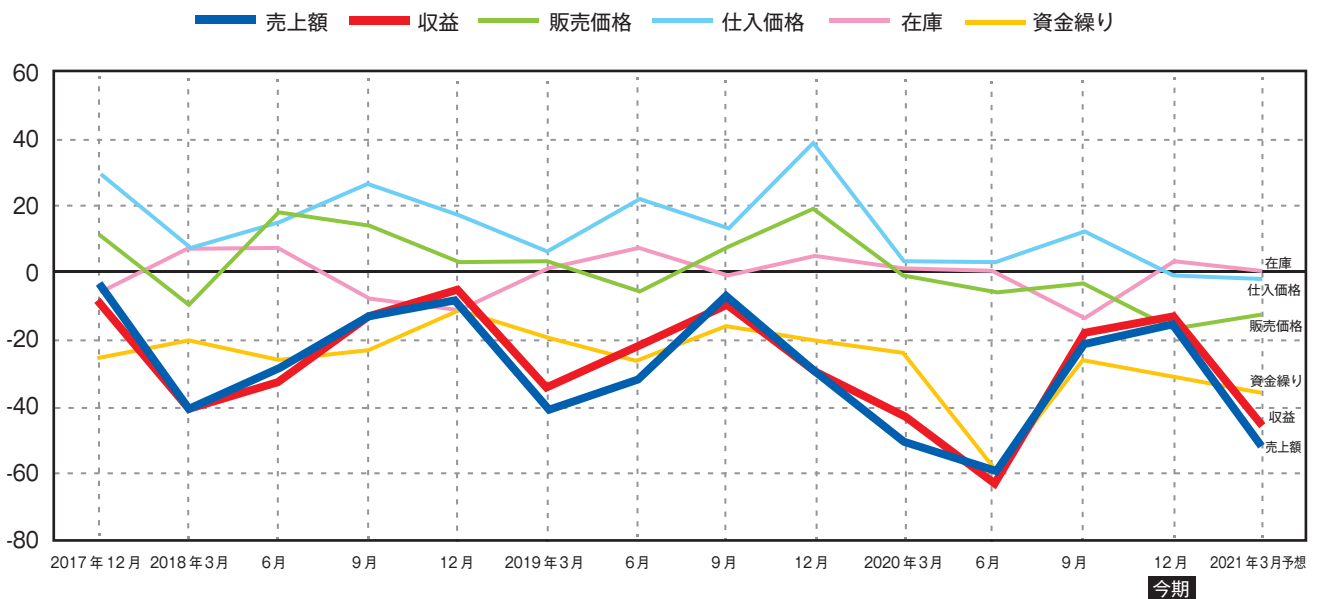
◆◆◆ 小売業 48社

概況判断 業況はやや改善するも悪化が続いている。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業の割合が10.4ポイント、「**悪い**」と回答した企業の割合は64.6ポイントで、業況DI(「**良い**」－「**悪い**」)は▲54.2となり、前期(▲66.6)に比べ12.4ポイントマイナス幅が改善しました。来期(2021年1～3月)の予想DIは▲75.0で、今期に比べ20.8ポイント悪化し、業況の悪化が強まると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



前期(2020年7～9月)に比べ、「**売上額**」「**収益**」ともにマイナスながら改善しました。「**販売価格**」は前期に比べ下降幅が拡大し、「**仕入価格**」も前期に比べ上昇幅が縮小しました。「**商品在庫**」については品薄からやや過剰に転じ、「**資金繰り**」の窮屈感は強まりました。

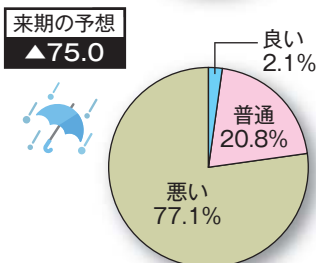
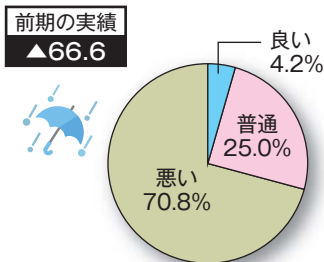
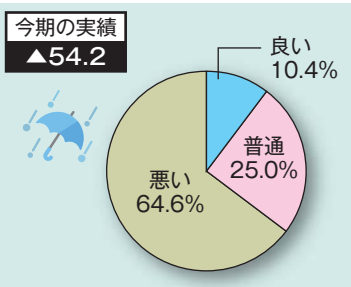
来期の見通し

来期(2021年1～3月)は、「**売上額**」「**収益**」ともに大きく下降すると見通しています。「**販売価格**」は下降幅がやや改善すると見通しており、「**仕入価格**」は上昇から下降に転じると見通しています。「**商品在庫**」については、荷もたれ感が解消すると予想しており、「**資金繰り**」については、窮屈感が一層強まると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)

(%)



		今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合		▲54.2	▲66.6	12.4	▲75.0	▲20.8	▲29.1	▲25.1
内訳	良い	10.4	4.2	6.2	2.1	▲8.3	20.9	▲10.5
	普通	25.0	25.0	0.0	20.8	▲4.2	29.2	▲4.2
	悪い	64.6	70.8	▲6.2	77.1	12.5	50.0	14.6
売上額		▲14.5	▲20.8	6.3	▲52.1	▲37.6	▲31.2	16.7
収益		▲12.5	▲18.7	6.2	▲48.0	▲35.5	▲31.2	18.7
販売価格		▲14.6	▲2.1	▲12.5	▲12.5	2.1	18.7	▲33.3
仕入価格		0.0	10.5	▲10.5	▲2.1	▲2.1	37.5	▲37.5
在庫		2.1	▲12.5	14.6	0.0	▲2.1	4.2	▲2.1
内訳	過剰	18.8	6.3	12.5	18.8	0.0	16.7	2.1
	適正	64.6	75.0	▲10.4	62.5	▲2.1	70.8	▲6.2
	不足	16.7	18.8	▲2.1	18.8	2.1	12.5	4.2
資金繰り		▲33.3	▲29.2	▲4.1	▲37.5	▲4.2	▲20.8	▲12.5
残業時間		▲10.4	▲29.1	18.7	▲18.8	▲8.4	▲2.1	▲8.3
人手		▲16.7	▲12.5	▲4.2	▲16.7	0.0	▲16.6	▲0.1
設備投資		▲20.9	▲16.7	▲4.2	▲14.6	6.3	▲14.6	▲6.3
内訳	過剰	2.1	4.2	▲2.1	2.1	0.0	2.1	0.0
	適正	75.0	75.0	0.0	81.3	6.3	81.3	▲6.3
	不足	23.0	20.9	2.1	16.7	▲6.3	16.7	6.3

経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	68.8	58.3
2	大型店との競争激化	16.7	18.8
2	利幅の縮小	27.1	18.8
4	人手不足	6.3	14.6
4	商店街の集客力低下	10.4	14.6

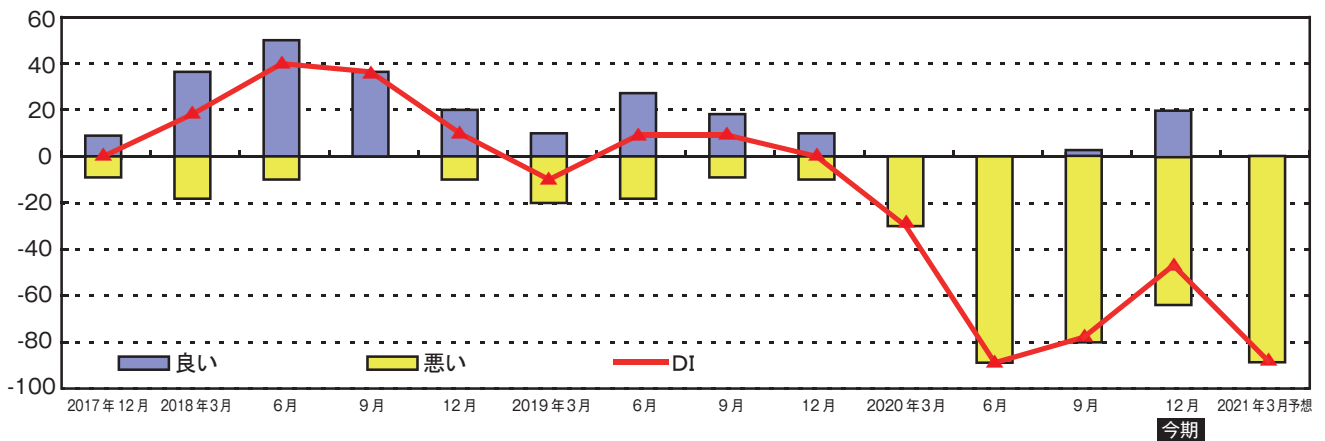
	項目	前期	今期
1	経費を節減する	50.0	54.2
2	売れ筋商品を取り扱う	25.0	29.2
3	宣伝・広告を強化する	27.1	27.1
4	仕入先を開拓・選別する	10.4	14.6
4	人材を確保する	12.5	14.6

調査員のコメント

- 近年、売上の減少が長期間にわたり続いている。併せて今春頃から新型コロナウイルスによる影響も受けて売上高が一段と減少した。今後も業況の回復は見込めないこと、事業主が高齢であることから、事業に対する意欲が薄れてきたことから廃業も視野に入れているとのこと。
(写真機・時計・眼鏡・貴金属小売業)
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて地域全体で業況が冷え込む中、大手スーパー等の大型店との競争がこれまで以上に激化している。固定客中心の商売であるが、高齢化や代替わりにより客数は大幅に減っている。今後は、各種補助金や専門家からのアドバイス等を活用し、自社のIT化を進めることで効率的な経営を目指していく。
(飲食料点小売業)
- 酒田市が実施している「paypay決済による購入代金30%還元サービス」により、例年に比べ売上高は増加した。反面、キャッシュレス決済に伴い、手持ち資金が減少してくることから資金繰りが厳しくなった。
(飲食料点小売業)
- 業況、長期的に下降している。大型店同士が競い合っている中で、旧型店舗が営業を続けていくことは難しくなっていると考えている。新型コロナウイルス感染拡大による影響は特に感じることはないが、体調を崩しており、後継者もないことから、借入金の返済が可能うちに事業を止めたいと思っている。
(その他小売業)

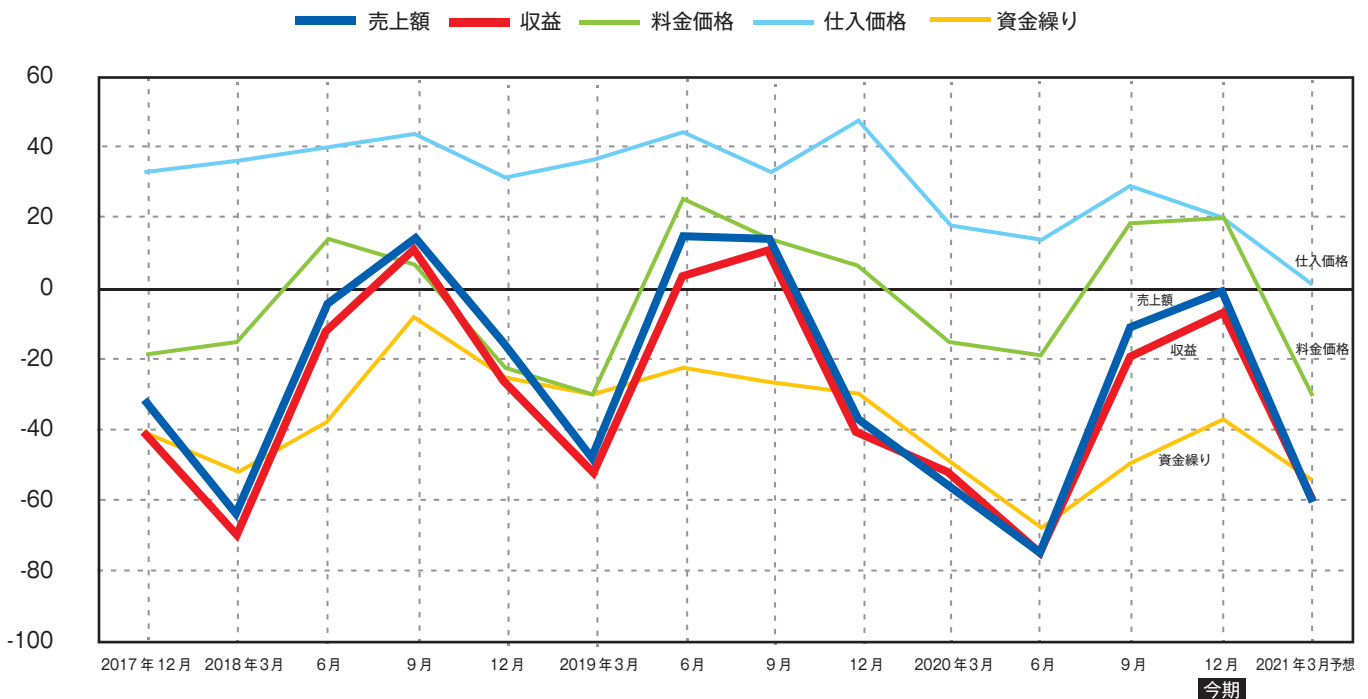
◆ ◆ ◆ サービス業 26社

概況判断 業況はマイナスながら大きく改善した。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業の割合は19.2ポイント、「**悪い**」と回答した企業の割合は65.4ポイントで、業況DI(「**良い**」－「**悪い**」)は▲46.2となり、前期(▲77.8)に比べ31.6ポイントマイナス幅が縮小しました。来期(2021年1～3月)の予想DIは▲88.5で、業況は大きく悪化すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



前期(2020年7月～9月)に比べ、「**売上額**」は水面下を脱し、「**収益**」もマイナスながら改善しました。「**料金価格**」は前期に比べ上昇幅が拡大し、「**材料価格**」は上昇幅が縮小しました。「**資金繰り**」については、前期に比べ窮屈感が改善しましたが未だ窮屈な状況は続いています。

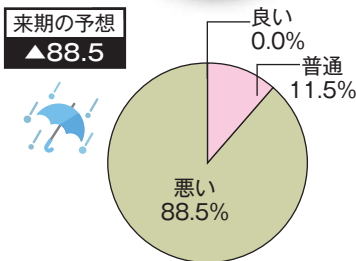
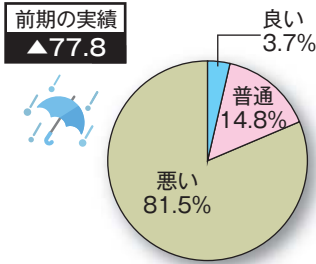
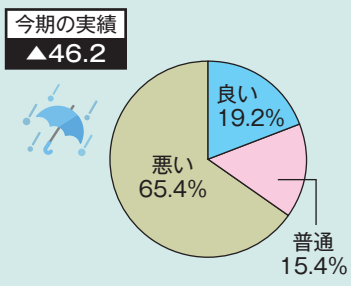
来期の見通し

来期(2021年1～3月)は、新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響を受け「**売上額**」「**収益**」共にマイナス幅が大きく拡大すると見通しています。価格については、「**料金価格**」は上昇から下降に転じ、「**材料価格**」の上昇は大きく改善されると見通しています。「**資金繰り**」については、今期に比べ窮屈感が強まると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)

(%)



		今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合		▲46.2	▲77.8	31.6	▲88.5	▲42.3	▲33.3	▲12.9
内訳	良い	19.2	3.7	15.5	0.0	▲19.2	11.1	8.1
	普通	15.4	14.8	0.6	11.5	▲3.9	44.4	▲29.0
	悪い	65.4	81.5	▲16.1	88.5	23.1	44.4	21.0
売上額		0.1	▲11.1	11.2	▲65.5	▲65.6	▲37.0	37.1
収益		▲7.7	▲18.5	10.8	▲65.4	▲57.7	▲40.7	33.3
料金価格		19.3	18.5	0.8	▲30.7	▲50.0	7.4	11.9
材料価格		19.2	29.6	▲10.4	0.0	▲19.2	48.1	▲28.9
資金繰り		▲34.7	▲48.1	13.4	▲57.7	▲23.0	▲29.6	▲5.1
残業時間		0.0	▲51.8	51.8	▲34.7	▲34.7	▲22.2	22.2
人手		▲42.3	▲7.4	▲34.9	▲15.4	26.9	▲22.2	▲20.1
設備投資		▲34.6	▲25.9	▲8.7	▲34.6	0.0	▲33.3	▲1.3
内訳	過剰	3.8	3.7	0.1	3.8	0.0	3.7	0.1
	適正	57.7	66.7	▲9.0	57.7	0.0	59.3	▲1.6
	不足	38.4	29.6	8.8	38.4	0.0	37.0	1.4

経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	70.4	69.2
2	店舗狭小・設備の老朽化	22.2	34.6
3	人手不足	18.5	19.2
3	利幅の縮小	11.1	19.2
5	技術力の不足	3.7	15.4

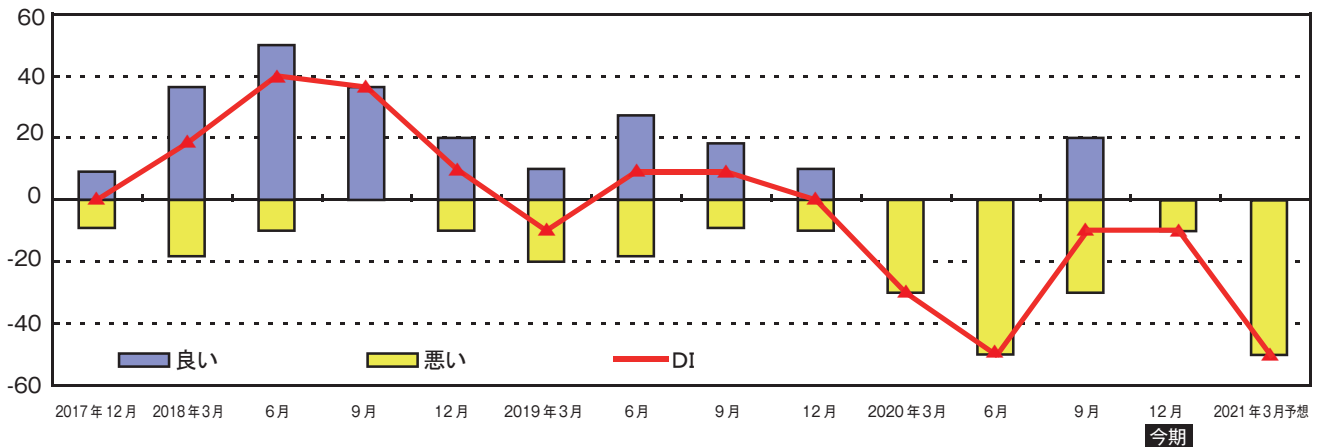
	項目	前期	今期
1	経費を節減する	66.7	46.2
2	販路を広げる	51.9	34.6
3	宣伝・広告を強化する	18.5	23.1
3	人材を確保する	14.8	23.1
5	店舗・設備を改装する	7.4	19.2

調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大により、各種イベントや旅行などの機会が無くなったことで、クリーニングの受注が減少した。また、地域の人口減少により、同業者間の競争が一層厳しくなっている。ドライブスルーや無人化店舗、コインランドリー併設店舗等様々な対応を行っているが、売上の減少に歯止めがかからない状況です。（洗濯・理容・浴場業）
- 新型コロナウイルス感染拡大により、市内で計画されたイベント等が軒並み中止になり、看板・ポスターをはじめとした広告物の注文がキャンセルになったことから、売上高は対前年比40%減となった。現在の状況は今後しばらく続くと予想しており、事業の先行きに対する不安が大きくなった。（情報サービス・調査・広告業）
- Gotoトラベル事業の影響により、大きく売上を伸ばすことが出来た。団体やグループの宿泊は減少したものの、個人や少人数宿泊客の宿泊費単価が大きく上昇したことによりカバーすることが出来た。旅行会社からの紹介や自社ホームページからの宿泊予約が多くなっており、新型コロナウイルス感染拡大のなか、これまで以上にWeb戦略等を進めることで顧客獲得につなげたいと考えている。（旅館、その他の宿泊所）
- Gotoトラベル効果により、例年売り上げが落ちる秋～冬にかけて例年以上の売上があった。しかしながら、庄内でも新型コロナウイルスの感染者が継続して発生している中で、既に入っている宿泊予約のキャンセルが相次いでいることから心配している。大型旅館に比べ、自社単独で積極的なPR活動を行うこともできず、今後どうなるのか同業者間の連絡を密にし、情報収集を行っている。（旅館、その他の宿泊所）

◆◆◆ 不動産業 10社

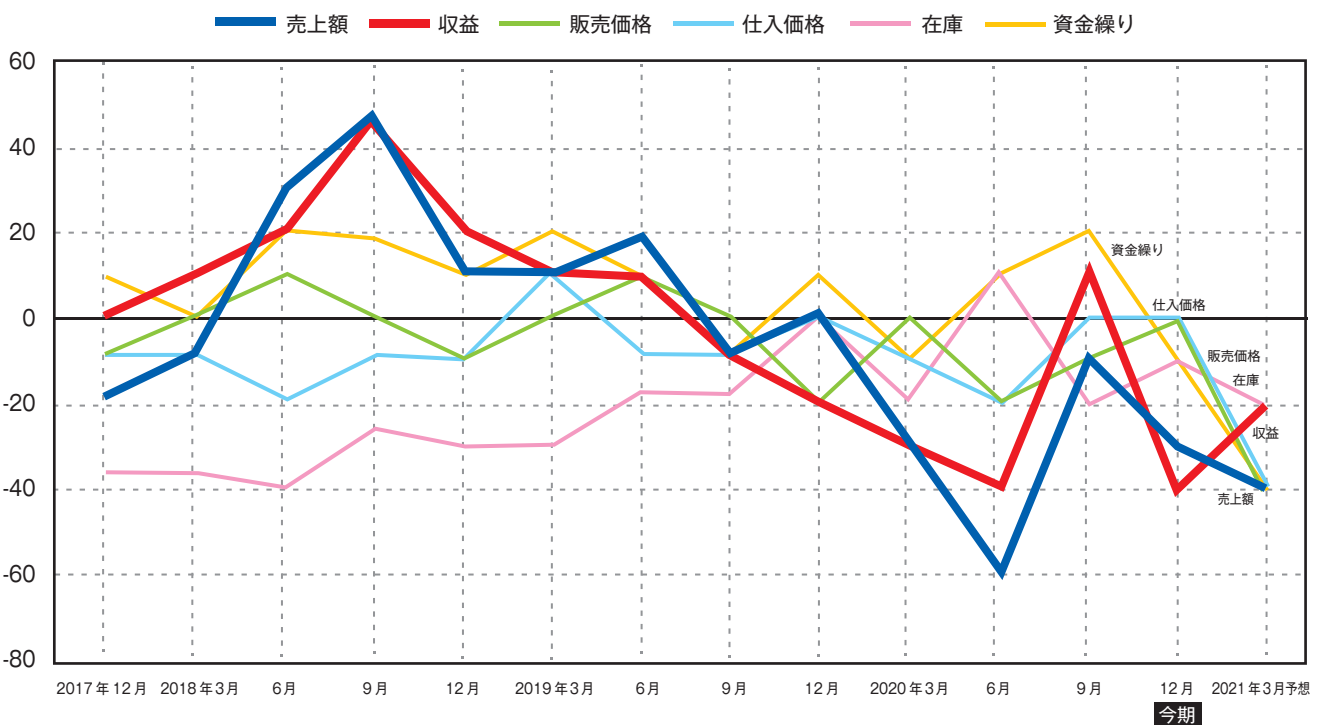
概況判断 業況は改善ならなかった。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業は無く、「**悪い**」と回答した企業の割合は10.0ポイントで、業況DI（「**良い**」－「**悪い**」）は▲10.0で前期（▲10.0）と同率となり、業況は改善しませんでした。

来期（2021年1～3月）の予想DIは▲50.0で、今期に比べマイナス幅が40.0ポイント拡大し、業況は大きく悪化すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



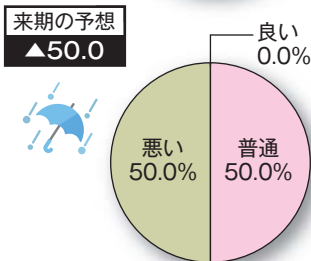
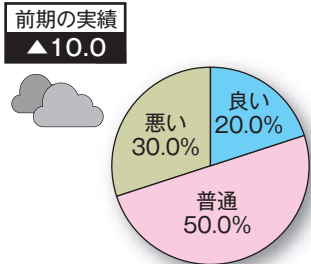
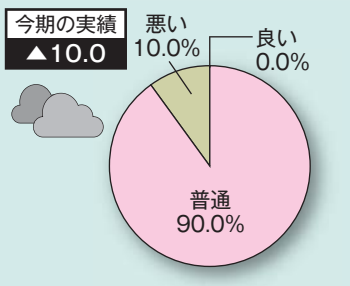
前期（2020年7～9月）に比べ、「**売上額**」の減少幅が拡大し、「**収益**」も減少を強め、水面下へ落込みしました。「**販売価格**」は下降幅が縮小し、「**仕入価格**」は前期と同様となりました。「**在庫**」については品薄感が緩和し、「**資金繰り**」については、前期の容易から水面下に落ち込みし、窮屈感が現れました。

来期の見通し

来期（2021年1～3月）は、「**売上額**」のマイナス幅が拡大するも、「**収益**」はマイナスながら改善すると見通しています。「**販売価格**」は大きく下降するも、「**仕入価格**」も下降すると見通しています。「**在庫**」については品薄感が拡大し、「**資金繰り**」については窮屈感が強まると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合		▲10.0	▲10.0	0.0	▲50.0	▲40.0	0.0	▲10.0
内訳	良い	0.0	20.0	▲20.0	0.0	0.0	10.0	▲10.0
	普通	90.0	50.0	40.0	50.0	▲40.0	80.0	10.0
	悪い	10.0	30.0	▲20.0	50.0	40.0	10.0	0.0
売上額		▲30.0	▲10.0	▲20.0	▲40.0	▲10.0	0.0	▲30.0
収益		▲40.0	10.0	▲50.0	▲20.0	20.0	▲20.0	▲20.0
販売価格		0.0	▲10.0	10.0	▲40.0	▲40.0	▲20.0	20.0
仕入価格		0.0	0.0	0.0	▲30.0	▲30.0	0.0	0.0
在庫		▲10.0	▲20.0	10.0	▲40.0	▲30.0	0.0	▲10.0
内訳	過剰	10.0	0.0	10.0	0.0	▲10.0	10.0	0.0
	適正	70.0	80.0	▲10.0	60.0	▲10.0	80.0	▲10.0
	不足	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	10.0	10.0
資金繰り		▲10.0	20.0	▲30.0	▲20.0	▲10.0	10.0	▲20.0
残業時間		▲10.0	0.0	▲10.0	0.0	10.0	0.0	▲10.0
人手		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲20.0	20.0

経営上の問題点・重点施策

順位	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	40.0	60.0
2	商品物件の不足	30.0	40.0
3	利幅の減少	20.0	30.0
4	大手企業競争激化	10.0	20.0
4	人件費以外経費増加	0.0	20.0

順位	項目	前期	今期
1	情報力を強化する	50.0	40.0
1	不動産の有効活用	10.0	40.0
3	販路を広げる	40.0	30.0
3	宣伝・広告を強化する	50.0	30.0
5	経費を節減する	30.0	20.0

調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は特に感じていない。管理している貸家やアパートの家賃収入も安定しており、入居率も期待以上になっている。従業員の高齢化が課題となっており、有資格者を募集しているが同業他社でも募集していることから実現していない。（不動産代理業・仲介業）
- 業況、新型コロナウイルス感染拡大の影響も無く安定している。但し、建売等の保有物件数が多くなっているが、内覧会等のイベントが出来ないことから消費者へのPRについて効果的な方法を考えている。物件内部を360°カメラを利用して内覧できるような設備を使用している同業社もあり、自社でも導入を考えている。（建売業・土地売買業）

大型小売店の売上状況

(単位:百万円・%)

	山形県		東北	
	金額	前年同期比増減率	金額	前年同期比増減率
2019/9	12,191	4.1	101,103	4.8
10	11,346	△3.4	92,857	△5.7
11	11,375	△0.4	98,565	△0.7
12	14,383	△2.9	123,704	△3.1
2020/1	11,773	△3.6	101,453	△2.1
2	10,619	△1.4	93,314	2.9
3	11,681	△6.2	108,982	△4.6
4	11,021	△6.4	99,387	△6.2
5	12,067	△1.3	106,570	△1.8
6	11,629	△3.2	109,382	1.1
7	11,415	△3.7	110,122	0.2
8	12,702	△3.8	116,921	0.2
9	11,164	△8.4	102,490	△7.5
10	11,422	0.7	106,085	4.7

資料：東北経済産業局

(注)イ対象店舗数に変動があるため前年比は同一店舗比較
ロ売上高には消費税含む

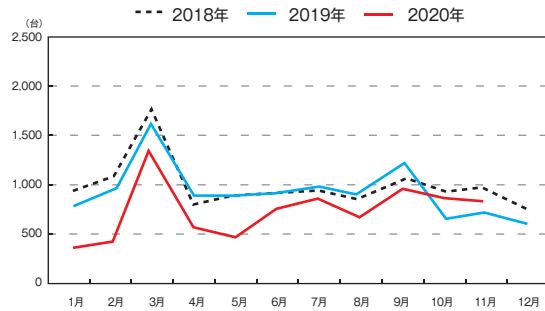
自動車の販売状況 新車販売(登録・届出)台数の推移

(単位:台・%)

	庄内地区						山形県					
	乗用		軽四輪		合計		乗用		軽四輪		合計	
	台数	前年同期比増減率	台数	前年同期比増減率	台数	前年同期比増減率	台数	前年同期比増減率	台数	前年同期比増減率	台数	前年同期比増減率
2019/9	550	2.4	628	27.1	1,178	14.2	2,784	5.3	2,415	18.0	5,199	10.8
10	326	△29.1	358	△21.3	684	△25.2	1,586	△29.1	1,417	△26.0	3,003	△27.6
11	362	△23.9	375	△24.1	737	△24.0	1,819	△23.9	1,615	△20.2	3,434	△22.1
12	330	△7.3	304	△19.4	634	△13.5	1,798	△11.2	1,268	△17.2	3,066	△10.7
2020/1	307	△18.8	426	△6.2	733	△4.5	1,531	△19.6	1,376	△19.2	2,907	△19.4
2	430	△16.8	323	△17.2	753	△22.4	1,985	△16.5	1,755	△17.3	3,740	△16.8
3	678	△19.8	660	△14.8	1,338	△17.0	3,361	△17.6	2,741	△14.5	6,102	△16.2
4	311	△18.6	246	△45.3	557	△33.0	1,514	△24.3	1,028	△36.7	2,542	△31.2
5	279	△34.5	199	△51.6	478	△42.8	1,283	△38.5	864	△51.1	2,147	△44.3
6	349	△19.8	427	△10.5	776	△14.9	1,680	△25.9	1,706	△16.4	3,386	△21.4
7	404	△21.9	438	△5.8	842	△14.3	1,968	△17.8	1,776	△0.4	3,744	△18.4
8	323	△21.8	341	△13.2	664	△17.6	1,625	△18.3	1,477	△8.4	3,102	△21.1
9	473	△14.0	523	△16.7	996	△15.4	2,476	△11.1	2,173	△10.0	4,649	△10.5
10	471	44.5	405	13.1	876	28.0	2,240	41.2	1,790	26.3	4,030	34.1
11	387	6.9	452	20.5	839	13.8	2,010	10.5	1,985	22.9	3,995	16.3

資料：庄内自動車検査登録事務所

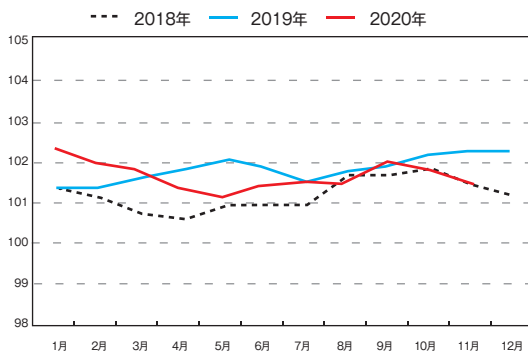
庄内地区新車販売(登録・届出)台数



消費者物価指数の推移

	山形県			全国		
	指数	対前月上昇率	対前年同月上昇率	指数	対前月上昇率	対前年同月上昇率
2019/9	101.9	0.1	0.2	101.9	0.1	0.2
10	102.2	0.2	0.3	102.2	0.3	0.2
11	102.3	0.1	0.7	102.3	0.1	0.5
12	102.3	0.0	1.0	102.3	0.0	0.8
2020/1	102.4	0.1	0.9	102.2	△0.1	0.7
2	102.0	△0.4	0.5	102.0	△0.2	0.4
3	101.8	△0.2	0.1	101.9	0.0	0.4
4	101.4	△0.4	△0.5	101.9	△0.1	0.1
5	101.2	△0.2	△0.9	101.8	0.0	0.1
6	101.4	0.3	△0.5	101.7	△0.1	0.1
7	101.6	0.2	0.0	101.9	0.1	0.3
8	101.5	0.0	△0.3	102.0	0.2	0.2
9	102.0	0.4	0.1	102.0	△0.1	0.0
10	101.8	△0.2	△0.4	101.8	△0.1	△0.4
11	101.5	△0.3	△0.8	101.3	△0.5	△0.9

消費者物価指数(山形県)



(指数:2015年)

2016年7月分から、指数の基準時参照年次が2015年に変更になりました。

※2009年3月分まで山形県各市の消費者物価指数の公表が終了し、公表が山形市のみとなったため、2009年4月より、山形市のデータをもって山形県とする。

資料:総務省統計局消費統計課物価統計室

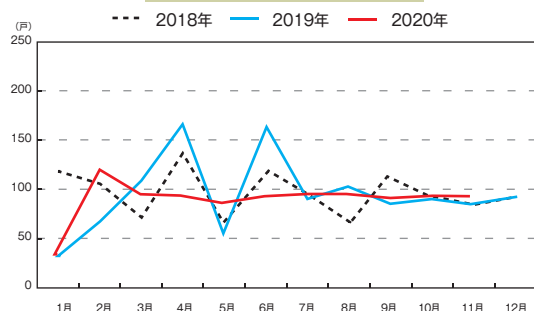
新設住宅着工戸数

(単位:戸・%)

	鶴岡市		酒田市		庄内地区		山形県	
	着工戸数	前年同期比増減率	着工戸数	前年同期比増減率	着工戸数	前年同期比増減率	着工戸数	前年同期比増減率
2019/10	43	10.2	31	△29.5	83	△9.7	368	△31.9
11	46	9.5	20	△0.2	79	1.2	480	△2.6
12	39	21.8	49	11.3	90	1.1	443	△35.6
2020/1	24	26.3	10	11.1	36	12.5	220	△1.3
2	60	114.2	51	96.1	121	86.1	425	11.8
3	51	△8.9	33	△17.5	96	△10.2	414	△19.4
4	59	7.2	28	△71.4	91	△44.1	543	7.5
5	37	68.1	31	72.2	84	58.4	367	△33.8
6	44	△27.8	33	△64.1	94	△41.9	456	△42.5
7	56	64.7	31	△41.5	97	8.9	456	△0.2
8	50	△27.5	36	12.5	97	△4.9	540	7.3
9	40	8.1	40	25.0	82	7.8	407	△23.6
10	32	△25.5	50	61.2	92	10.8	441	19.8
11	41	△10.8	43	115.0	91	15.1	380	△20.8

資料：山形県土木部建築住宅課

新設住宅着工戸数(庄内地区)



求人・求職者の動き

(単位:人・%)

鶴岡	新規求人		新規求職申込み件数		月間有効求人人数		月間有効求職者数	
	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率
2019/10	1,073	△16.6	580	5.3	2,984	△16.0	1,959	5.0
11	939	△13.8	456	△6.7	2,959	△14.6	1,932	8.0
12	1,031	△5.1	438	15.6	2,832	△11.3	1,810	9.6
2019/1	1,072	△17.9	574	9.1	2,876	△11.5	1,863	11.6
2	1,027	△15.8	506	△14.5	2,921	△14.2	1,870	3.3
3	1,144	△2.9	633	5.1	3,007	△10.3	2,040	3.2
4	929	△23.3	678	△6.5	2,723	△16.3	2,037	△3.1
5	689	△32.0	472	△18.3	2,364	△21.4	2,009	△3.2
6	1,021	△6.5	550	16.8	2,436	△18.9	2,030	1.8
7	859	△27.1	471	△16.3	2,324	△23.5	1,956	△1.6
8	816	△18.7	453	7.1	2,399	△20.1	1,943	5.5
9	954	△15.6	495	△4.3	2,512	△17.6	1,995	5.1
10	1,018	△5.1	512	△11.7	2,640	△11.5	2,019	3.1
11								

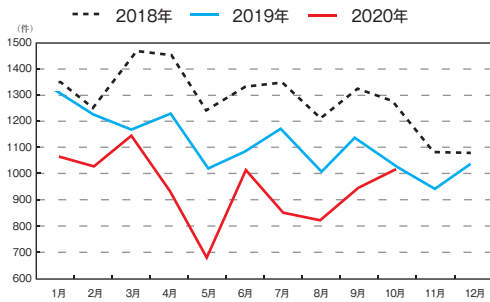
資料:ハローワーク鶴岡

(単位:人・%)

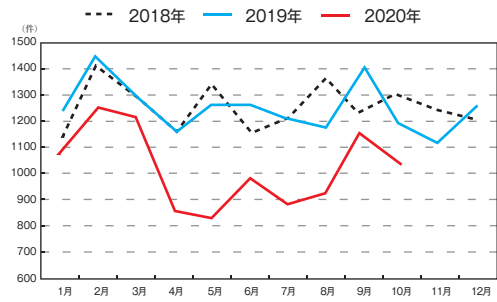
酒田	新規求人		新規求職申込み件数		月間有効求人人数		月間有効求職者数	
	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率
2019/10	1,193	△8.3	637	3.7	3,435	△4.8	2,183	7.5
11	1,106	△10.8	509	3.0	3,420	△3.5	2,138	9.2
12	1,261	4.5	477	7.9	3,307	△3.6	2,020	8.3
2020/1	1,080	△12.4	637	△0.5	3,158	△8.7	2,012	4.8
2	1,256	△13.0	548	△14.2	3,349	△8.8	2,042	△1.3
3	1,209	△6.6	563	△20.5	3,205	△12.4	2,100	△8.2
4	859	△25.5	705	△5.7	2,897	△16.2	2,156	△7.2
5	815	△35.5	520	△7.5	2,310	△31.4	2,165	△4.7
6	982	△22.2	549	△2.1	2,361	△30.1	2,187	△0.0
7	898	△25.4	521	△17.4	2,488	△26.0	2,189	△2.8
8	918	△22.3	451	△11.9	2,541	△23.9	2,135	△1.7
9	1,153	△17.6	504	△7.9	2,750	△22.7	2,220	1.9
10	1,038	△13.0	578	△9.3	2,838	△17.4	2,260	3.5
11								

資料:ハローワーク酒田

新規求人数(鶴岡)



新規求人数(酒田)



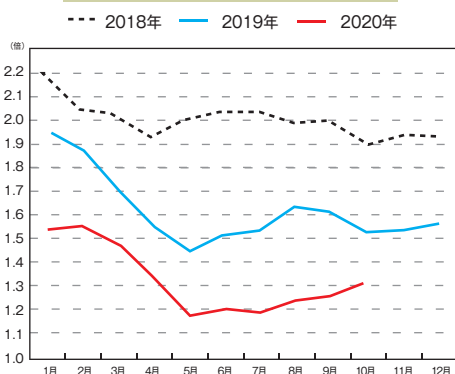
月間有効求人倍率の推移(鶴岡・酒田)

(単位:倍)

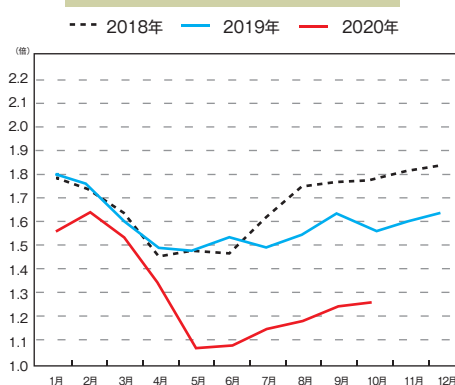
	鶴岡						酒田					
	2018年度		2019年度		2020年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比
4月	1.93	0.38	1.55	△0.38	1.34	△0.21	1.46	△0.05	1.49	0.03	1.34	△0.15
5月	2.00	0.35	1.45	△0.55	1.18	△0.27	1.48	△0.10	1.48	0.00	1.07	△0.41
6月	2.03	0.26	1.51	△0.52	1.20	△0.31	1.47	△0.12	1.54	0.07	1.08	△0.46
7月	2.03	0.21	1.53	△0.50	1.19	△0.34	1.61	0.02	1.49	△0.12	1.14	△0.35
8月	1.99	0.13	1.63	△0.36	1.23	△0.40	1.75	0.12	1.54	△0.21	1.19	△0.35
9月	2.00	0.07	1.61	△0.39	1.26	△0.35	1.77	0.08	1.63	△0.14	1.24	△0.31
10月	1.90	0.00	1.52	△0.38	1.31	△0.21	1.78	0.09	1.57	△0.21	1.26	△0.42
11月	1.94	△0.11	1.53	△0.41			1.81	0.04	1.60	△0.21		
12月	1.93	△0.18	1.56	△0.37			1.84	0.08	1.64	△0.20		
1月	1.95	△0.25	1.54	△0.41			1.80	0.08	1.57	△0.23		
2月	1.88	△0.16	1.56	△0.32			1.77	0.03	1.64	△0.13		
3月	1.70	△0.33	1.47	△0.23			1.60	△0.03	1.53	△0.07		

(パートを含む常用)
資料:
ハローワーク鶴岡・酒田

月間有効求人倍率(鶴岡)



月間有効求人倍率(酒田)



特別調査「2021年(令和3年)の経営見通し」

問1.
貴社では、2021年の日本の景気をどのように見通していますか。
次の中から1つ選んでお答えください。

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. やや良い	4.2	3.0	3.2	15.0	2.1	0.0	10.0
4. 普通	8.9	6.1	12.9	5.0	6.3	15.4	10.0
5. やや悪い	39.9	39.4	41.9	25.0	39.6	46.2	50.0
6. 悪い	37.5	42.4	32.3	45.0	39.6	30.8	30.0
7. 非常に悪い	9.5	9.1	9.7	10.0	12.5	7.7	0.0

問4.
貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。
次の中から1つ選んでお答えください。

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. すでに上向いている	6.0	0.0	6.5	10.0	6.3	7.7	10.0
2. 6か月以内	10.7	12.1	6.5	10.0	18.8	0.0	10.0
3. 1年後	25.0	39.4	16.1	20.0	20.8	19.2	50.0
4. 2年後	22.0	21.2	32.3	25.0	12.5	30.8	10.0
5. 3年後	8.9	3.0	12.9	10.0	8.3	15.4	0.0
6. 3年超	3.6	6.1	3.2	5.0	4.2	0.0	0.0
7. 業況改善の見通しは立たない	23.8	18.2	22.6	20.0	29.2	26.9	20.0

問2.
貴社では、2021年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。
次の中から1つ選んでお答えください。

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. やや良い	5.4	3.0	9.7	10.0	6.3	0.0	0.0
4. 普通	21.4	24.2	19.4	25.0	16.7	23.1	30.0
5. やや悪い	45.2	36.4	61.3	50.0	43.8	34.6	50.0
6. 悪い	23.2	27.3	9.7	15.0	27.1	34.6	20.0
7. 非常に悪い	4.8	9.1	0.0	0.0	6.3	7.7	0.0

問5.
現下のコロナ禍において、貴社では、資金繰り以外の事業計画・戦略等の策定・実行支援として、地域金融機関に求めることはありますか。以下の中から3つまでお答えください。

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 各種補助金・助成金等の活用支援	54.8	66.7	54.8	70.0	47.9	50.0	30.0
2. ビジネスマッチング・顧客紹介	31.5	30.3	32.3	45.0	22.9	34.6	40.0
3. 各種専門家や専門機関との連携支援	10.1	9.1	9.7	10.0	14.6	7.7	0.0
4. 人材獲得育成・人材派遣の支援	11.3	9.1	22.6	0.0	8.3	11.5	20.0
5. IT化・デジタル化への支援	13.1	6.1	16.1	5.0	18.8	11.5	20.0
6. 新分野進出・業態転換の支援	10.1	15.2	6.5	10.0	12.5	7.7	0.0
7. 事業継続計画(BCP)の策定支援	8.9	9.1	3.2	10.0	12.5	7.7	10.0
8. 事業継承・M&A支援	8.9	15.2	6.5	20.0	6.3	3.8	0.0
9. 円滑な廃業に向けての支援	4.2	3.0	0.0	0.0	10.4	3.8	0.0
0. 資金繰り支援以外に求めるものはない	20.8	12.1	12.9	15.0	25.0	30.8	40.0

問3.
2021年において貴社の売上の売上額の伸び率は、2020年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 30%以上の増加	1.2	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 20～29%の増加	2.4	0.0	3.2	5.0	2.1	3.8	0.0
3. 10～19%の増加	5.4	3.0	6.5	5.0	8.3	3.8	0.0
4. 10%未満の増加	11.3	9.1	9.7	25.0	12.5	7.7	0.0
5. 変わらない	26.2	30.3	16.1	25.0	18.8	38.5	50.0
6. 10%未満の減少	26.8	15.2	38.7	30.0	29.2	19.2	30.0
7. 10～19%の減少	17.3	21.2	22.6	10.0	14.6	15.4	20.0
8. 20～29%の減少	5.4	12.1	3.2	0.0	4.2	7.7	0.0
9. 30%以上の減少	4.2	3.0	0.0	0.0	10.4	3.8	0.0



第186回 中小企業の景気動向

発行所 鶴岡信用金庫
郵便番号 997-0035
山形県鶴岡市馬場町1番14号
電話 0235-22-2360(代表)
担当部 総合企画部
電話 0235-22-2680(直通)
ホームページ <https://www.tsuruoka-sk.jp/>

2021年1月発行